

4月1日(月)

ヤギ(低い者)の知恵

聖書朗読 マタイ 5:38~42

求める者には与え、借りようとする者は断わらないようにしなさい。

マタイ 5:42

今日のカ

2013年4月1日~4月7日

翻訳 鷗沢未央
(大みかキリストの教会)

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

一匹通るのがやっとの幅しかない細い山道で2匹のヤギが鉢合わせしました。左は切り立った、右はそれはそれは深い湖です。お互いにはらみ合っています。一体どうしたらいいのでしょうか？ 引き下がるにはとても危険です。道はとても細くて向きを変えることも不可能です。

もしこのヤギがあまり賢くなかったのであれば、角をぶつけ合って、どちらか一方が湖に落ちてしまったことでしょう。しかし、ここではそうではありませんでした。一匹が山道に文字通りその下敷きになり、他方のヤギを越えさせたので、2匹とも無事でした。片方が下になり、他方を行かせる——これがヤギの知恵です。一般社会の中に見られるものではありません。

イエス様は「悪に反抗してはなりません。悪には善を帰しなさい」また「もう片方の頬を相手に向ける、追加の1マイルを進んで歩く」(マタイ 5:39,41)と語りました。クリスチャンは他人の善のために自分への不正を耐え忍ぶことができる強さがある、とイエス様は語っているのです。あなたがほかの人のために自らを低くするとき、自分はほかの人に支配されまいという意思表示をするのです。あなたが自ら差し出さないのに、人がそれを取り上げることはできないのです。人に自分の上を歩かせることのほうが、互いに頭をぶつけ合うよりはよいのですから。

讚美歌 第二編 17

祈り お父様。ほかの人に自分を低くすることができるよう、私に勇気をください。御自身の命さえ下されたイエス様というお手本に感謝いたします。

キリストの名によって祈ります。アーメン。

エディー・C・ルイス

ミシシッピ州 オリーブブランチ

御茶の水キリストの教会

4月2日(火)

神様からの祝福を求めること

聖書朗読 マタイ 7:7~11

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた天から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

ヤコブ 1:17

今日の聖書ではイエス様の言う「パンをほしがる子どもに石を与える父親」がよい父親でないことは簡単にわかります。しかし、もし自分の子どもが自転車ではなくハーレーダビッドソンのバイクをほしがったらどうしますか？ 星屑で十分なのに、月をほしがったりしたら。私たちの神様は完璧な父親なので、子どもにとって何が一番であるのかをご存知です。

神様は私たちに祈ってほしいのです。求めよ、探せ、門をたたけと説明されたように、熱心に、休みなくです。そして、もし祈ったとしても、祈りが溢れんばかりの財産や祝福の扉を開ける鍵であると考えてはいけません。ヤコブの手紙ではそのような食欲な心を簡潔な言葉でこう表現しています。『願っても受けられないのは、自分の快樂のために使おうとして、悪い動機で願うからです。』（ヤコブ 4:3）。これがまさしく私たちの祈りが応えられない理由でしょう。主が必要ないとおっしゃったとき、私たちの祈りが、神様の光の視点なのか、私たち自身の視点なのか、なぜそのために祈るのか、を立ち止まって考えるきっかけとするべきだとヤコブは教えます。

聖歌 253

祈り 親愛なるお父様、あなたの祈りへの答えという祝福を感謝いたします。自己中心にならず、他の人の必要を発見し、祈りや物質的な支えを差し出せるように助けてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

アレン・トラビス

コロラド州 センテニアル

4月3日(水)

簡単な慰め

聖書朗読 マタイ 10:38~42

わたしの弟子だというので、この小さい者たちのひとりに、水一杯でも飲ませるなら、まことに、あなたがたに告げます。その人は決して報いに漏れることはありません。
マタイ 10:42

ある有名な心理学者がシンポジウムで発表するために数週間かけて準備したプレゼンテーションのデータをタクシーの中に忘れてしまいました。彼女は、綿密に準備されたそれらのパソコン画像の助けなしにお話せざるを得なくなったのです。事務所にもどり、起こったことを秘書に話すと、彼女はその場に崩れ泣き始めました。何をしてあげたらいいかわかりませんでした。秘書は自分の上司にハグしてから、上司の好きなお茶をいれ、そばに座って話を聞き、慰めの言葉をかけました。

このような簡単な慰めは効くのでしょうか？ あなたが困難にあったり、難しい局面にあったときに誰かが慰めてくれたことはありますか？

誰かがあなたのそばに座り、慰めてくれたときのことを思い出してください。それがどんな苦しみであったとしても、誰かがその苦しみを分かち合ってくれることほど慰めになることはありません。隣でできることは聞くことであったり、ただ、一緒に居ることだけかもしれませんが、苦しみを一人きりで耐えるよりもずっとよいのです。

コップ一杯の水を誰かの人生に差し出すチャンスをいつも求めています。簡単な慰めが実はキリストの愛を周りの人に証しし、そして相手の人生を変えることにつながると忘れずにいましょう。

讃美歌 403

祈り 親愛なる主よ。私が必要なときに御言葉を伝えてくれた友人を与えてくださり、感謝いたします。どうか私も、傷ついている人々の光となることができるようにお助けください。約束の祝福、救いの恵みに感謝いたします。

イエス・キリストの御名によって。アーメン。

ラレンダ・ライルズ・ロバーツ

カリフォルニア州 サウザンドオークス

4月4日(木)

ただ見えるものだけによらない

聖書朗読 マタイ 13:24~33

イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、からし種のようなものです。それを取って、畑に蒔くと、どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。」イエスは、また別のたとえ話をされた。「天の御国はパン種のようなものです。女がパン種を取って三サトンの粉の中に入れて、全体がふくらんで来ます。」
マタイ 13:31~33

神様がもし、この世に天国の門を設置することにして、イベントプランナーに企画を依頼したとしたら、それはまさに、素晴らしいものとなるに違いありません。軍隊のパレード、マーチングバンドの演奏や翻る旗々・・・本当に素敵なイベントでしょう。しかし、神様はそれをイベントプランナーには任せませんでした。神様の国はまったく違う方法でとても静かにやってきたのです。そして現在も神の国はこの世に継続しているのです。

神の国——神様の支配——は予測も不可能で、素早くやってくるとあります。目に見えないほどの小さな種のように。50ポンド(22kg)の粉を膨らませる、ほんのつまみのイースト(ふくらし粉)のようです。それでもその結果は、想像を超えたものになるのです。

神様の支配が人間にやってくると目覚ましい変化が生まれます。憎しみが愛に変わります。拒絶が受容に差し替えられます。敵と和解をします。神様の平和がすべてに勝利するのです。

マタイ13章に似た表現を持つ箇所は、神の国が人々の努力によって地道に成長すると言っているではありません。そうではなくて、予測も期待もできない神の国の到来を、自分やほかの人の人生の中に見出すことができるよう気をつけていなさい、とイエス様はおっしゃっています。目には見えず、心では想像できないかもしれませんが、神の国は近づいているのです。神の国の到来を誰も止めることはできません。神様がそれをなさっているのですから。神の国の到来を待って、見守って、驚かされましょう。

讃美歌 第二編 12

祈り ああ主よ。あなたの驚くべき力と業に触れて心から驚くことができますように。今日、私たちをあなたの愛で包んでください。

私たちの王様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースカロライナ州 ドゥルハム

4月5日(金)

世界規模で教会の家族を愛する

聖書朗読 マタイ 22:34~39

『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。
マタイ 22:39

世界にいるクリスチャンの家族はどんどんその距離が近くなっています。隣人を愛するチャンスは劇的に増えています。今はインターネットを経由して世界中の宣教師と連絡をいつでも取り合うことができます。海外の災害の状況をiPhoneで見ることができます。アフリカの村にいるキリストにある兄弟姉妹ともスカイプ(インターネット電話)で話せます。

最近、私はアメリカを旅し、たくさんの教会を訪れ、兄弟姉妹に会いました。この旅を通して、自分の隣人とは単に隣に住んでいる人だけではなく、世界中の人々であることを発見しました。出会った人々は皆、ブルキナファソ、キューバ、サモア、ザンビアなど他の国の人々の生活に何らかの関わりを持っていました。アメリカで起こる出来事は世界の国々に影響を与えますが、同様に中国やブラジル、タイで起こる出来事もアメリカに影響を与えるのです。

私たちは沢山の道具を経由してお互いつながりあっています。そして以前と比べ物にならないほど隣人を愛することが可能になっています。さっそく国外にいる宣教師にメールを送りませんか？ アジアにいる兄弟に電話をかけませんか？ お隣の未亡人の奥さんを励ましに行きませんか？

讃美歌 第二編 234

祈り 天のお父様、世界各地にいる私たちの隣人を感謝いたします。あなたの御子によって示された愛を、世界中にいる私たちの隣人と分かち合うことがさらに出来ますように助けて下さい。またそのためにはどんな方法があるのか、私たちがまだ気付いていない方法があるのであれば、それを私たちにお示しください。私たちが今日も世界の光として歩めますように！ イエス様の御名によって。アーメン。

マーク&ブレンダ・ユング

ホンジュラス コロン トゥルーリオ

4月6日(土)

私のためにしてくれたのです！

聖書朗読 マタイ 27:27～44

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに對するご自身の愛を明らかにしておられます。

ローマ 5:8

イラクのアブクレイブ刑務所で捕虜を虐待したとして11人のアメリカ人兵士が2005年に軍法會議にかけられました。しかし、彼らのしたことも、イエス様にローマ兵がしたこととは比べものになりません。

あのひどい十字架の刑が始まりました。イエス様の背中にはローマ兵の棘付むちによって切り裂かれていました。兵士たちはイエス様の着ているものを脱がせ真っ赤なローブを羽織らせ、頭にとげが突き刺さるように茨の冠を押しつけました。その前にひざまずき、尊敬の振りをして馬鹿にし、つばを吐きかけ、葦の棒でもって頭部を殴りました。そして、十字架につけたのです。

神様のひとり子が何の抵抗もせず、兵士たちにされるがままにしていた姿を想像できますか？ その気になれば指でちょっとはじくだけで彼らを屈かかないところまで吹き飛ばすことのできる力を持つ、天と地の主である神が、傲慢な人間たちによって十字架につけられることを許されたのはなぜでしょう。

ある人はイエス様が受けた痛みや苦しみに悩み続けるよりも、それによってイエス様が私たちに何をもたらしてくださったのか、はっきりと理解する必要がある、といます。痛みや辱めに耐えただけでなく、罪のないイエス様が私たちの罪を引き受け、神様の前に正しいものとされるために代価を払ってくださったのです。パウロが第二コリント9章15節で叫ぶ同じ気持ちで、私たちが「神様の大きいなるすばらしい贈り物に感謝します！」と叫ぶのです。

讚美歌 142

祈り 父なる神様。イエス様の受けた虐待、痛み、拒絶、辱めが私たちのためであったことは私たちの理解を超えるものです。私たちにはそんな愛の実践は到底できませんが、受けた愛に心から感謝いたします。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

リチャード・N・エイディ
オレゴン州 グレシヤム

4月7日(日)

何も持たないときのあわれみ

聖書朗読 マルコ 6:30～44

イエスは、舟から上がられると、多くの群集をご覧になった。そして彼らが羊飼いのいない羊のようであるのを深くあわれみ、いろいろと教え始められた。

マルコ 6:34

イエス様と弟子たちは離れた場所に住む人を訪ねた時、十分な食べ物を持っていませんでした。しかし本当のあわれみは物が足りないことでくじけたりしません。イエス様は彼らをあわれまれました。つまり、少し疲れて休息をとりたかったけれども、そこで教え始めました。イエス様は彼らをあわれまれ、持参した少ない食料を分け与えたのです。

沢山持っているときに分け与えることは難しいことではありません。だから、持っている中から与えたものはあわれみを表すものではないのです。あわれみとは、貧しくても差し出すことです(Ⅱコリント 8:2)。あわれみとは、何も持たない時に差し出すことです。忙しい人のほうが退屈している人よりも人助けを多くしていることがよくあります。持たない人のほうがお金持ちの人よりも物を人に与えていることがよくあります。

イエス様は持ってきた食料がぜんぜん足りなかったときに、5000人分もの食事をまかなうことができました。イエス様の持っていたものとは、実は無くなるものではない物です。今も存在し続けています。イエス様は今もその無くなるものものを、ご自身にも、教会にも持っておられます。私たちがイエス様を心から信頼するとき、そして、イエス様のもたらした同じ憐れみを実践するとき、自分の能力よりもさらに大きなことを達成することができます。

愛せないと思うものを私たちが愛し続けることができたら
何が起きるでしょう？

——ルーベン・ウェルチ

讚美歌 59

祈り あわれみ深い父よ。自分の能力によらずあなたの恵みによってほかの人に仕えることのできる信仰をお与えください。あなたのあわれみ深いひとり子、救い主であるイエス様のお名前を通してお祈りいたします。

サヤー・サリスブリー
オハイオ州 トレド